



塔尾超勝寺



土橋の両側が深い堀切、境内側に土塁が築かれる

所在地：石川県加賀市塔尾町
立地：丘陵先端、標高78m
城主：超勝寺実顕
時期：室町
見学時間（参考）：約30分

塔尾集落東側の丘陵上に位置し、四十九院方向に四十九院峠を越えると山中温泉に通じ、今立方向に杉水峠を越えると九谷村を通って越前に通じる、それらの道の分岐近くに占地する城郭寺院跡。通称、御屋敷（オヤシキ）、寺屋敷（テラヤシキ）、または上山（ウエノヤマ）と呼ばれている。



登城口は塔尾神社の右側

超勝寺は越前国藤島庄の地頭斯波豊郷の勧進により、明徳3年（1392）に藤島城跡に倅如の二男頓円を寺主に迎えて創建されたと伝えられる。

文明3年（1471）、和田本覚寺や荒川興行寺などと共に、蓮如が建立した吉崎御坊の周辺に多屋を建て、4代蓮超が蓮如12女蓮周尼を内室に迎えると本願寺との結びつきが強くなった。

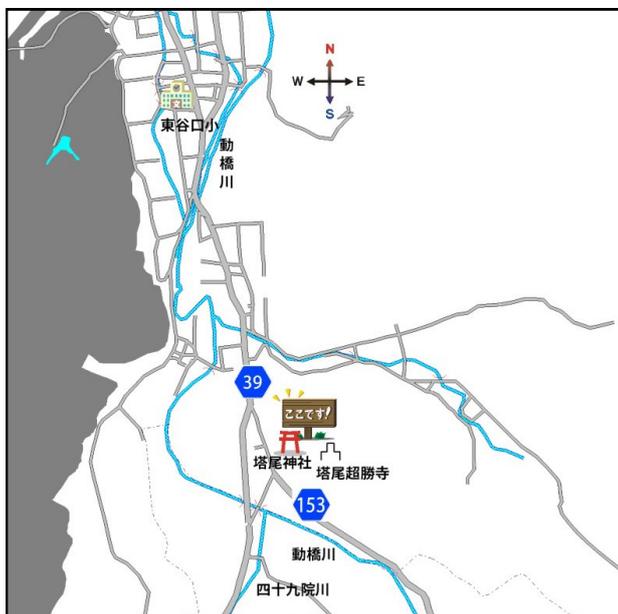
永正3年（1506）、超勝寺ら一向一揆は九頭竜川の戦いで朝倉氏に敗れ、5代実顕とその子実照は加賀に亡命し当地に寺院を建立した。その後、享祿の錯乱（享祿4年、1531）では本願寺や三河門徒を味方につけ、賀州三カ寺に勝利すると小松市林に寺基を移転した。



登城口は現在集落墓地に続く道になっている

寺院跡は北東に大きな堀切を設けて丘陵と遮断している。境内は方形に近く、堀切の境内側に土塁が築かれている。堀切中央の土橋を渡り境内に入ると、正面と左に土塁が設けられ、右に折れる樹形虎口になっている。

境内に井戸跡と伝えられている凹みが数カ所あるようだが、境内はシダで埋め尽くされているため、時期を選ばないと表面観察が難しい状況にある。



右に折れる樹形虎口



塔尾神社背後の台地上から塔尾集落が見下ろせる

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>